総務大臣 松本 剛明 殿

岩見沢市長 松野 哲

事後評価報告書（中間評価）

無線システム普及支援事業等補助金交付要綱補足事項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 事業概要

- (1) 工事完了日：令和3年3月22日
- (2) サービス開始日：令和3年4月20日

2. 目標達成状況

指 標	目 標 (目標年度)	実績値			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地域 BWA サービス 加入世帯数	69世帯 (令和6年度)	24	10	10	—

(参考)

提供可能回線数 (光ファイバ芯数)	利用回線数（地域BWA基地局への接続芯数）			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
4	4	4	4	—

※本事業において、地域 BWA 基地局 2 局の運用に必要な光ファイバを整備したものであるが、地域 BWA 基地局 1 局につき 4 芯 1 テープ（うち、現用回線として 1 芯、保守用として 1 芯で運用）の光ファイバが必要となることから、上記の利用回線数は現用回線及び保守用回線として使用している芯数を記載している。

3. 目標達成に向けて実施した取組

【地域 BWA サービス加入世帯数】

- ・ R4 年 1 月 オプション SIM キャンペーンの実施及び利活用事例の周知
- ・ R4 年 8 月 カーキットルーターの取扱及び販促キャンペーン
- ・ R4 年 11 月 アンケート実施
- ・ R5 年 3 月 利活用セミナーの開催
- ・ R5 年 7 月 新プラン提供開始（防犯カメラプラン、レンタルプラン）
- ・ R5 年 11 月 新プラン提供開始（短期レンタルプラン）

4. 評価

【地域 BWA サービス加入世帯数】

・ FWA サービスの利用者については、地域 BWA サービスへ移行が完了し、令和 3 年度末には新規ユーザーも含めてサービス加入世帯は 24 世帯となった。以降、地域 BWA サービスの周知・販促活動等を継続して実施しているが、令和 4 年度に FTTH 整備エリアが拡大したことにより、家庭向けインターネット接続サービスについてはユーザー獲得における競合が生じてしまい、令和 4 年度末のサービス加入世帯は 10 世帯に減少した。令和 5 年度末も横ばいの状況となっており目標達成には至っていない。

5. 課題への対応策

・ 新プラン提供の開始によるユーザー獲得に取り組んでいるところであり、引き続き、屋外利用が可能であることやデータ通信量が使い放題（他の民間サービスで設けられているようなデータ通信量超過による通信速度制御を設定していない）というサービスの強みなどを活かし、新プランや新たな利用シーンの実証、具体的なユースケースの周知・啓発による民間サービスとの差別化を図り、サービス加入世帯数増加に向けた取り組みを継続していく。